

戸田康之さん『セミ』（7月31日配信）

こんにちは！戸田です。よろしく。

今日は…お、あちこちにいますね～。夏と言えばこれ！セミのお話です。

私は今、ろう学校の幼稚部の教師をしています。

幼稚部の庭は自然がいっぱいで草木が生い茂っているのですが、夏休みの7月20日ごろ、今までは夏休みに入る前にはセミはいませんでした。まだ早いんです。7月20日を過ぎると出てくるんです。夏休み前の1学期にセミを捕まえようとしても無理でした。

しかし今年は初めて、今年は猛暑で7月20日より前にセミがあちこちにいたんです。子どもたちも大喜びで私がセミを捕まえて見せると、バタバタ動くセミの様子に喜んでいました。異常気象で気温が上がり、土の中にいたセミがいつもよりも早く出てきたようです。

セミという手話、私は両手を重ねてこのようにやります。でも他にも表し方がいろいろあるんです。このようにしたり、片手で表したり。東北地方の「セミ」は鼻をつまむこのような表現だそうです。「セミ」という手話、全国で違いがあるんですね。

そこの小学生のみんな！夏休みの宿題で自由研究ありますよね？今年の夏休みの自由研究は「セミ」の手話を調べて、北海道から、東北、関東、長野、信越、東海、近畿、四国、中国、九州にいたるまで、全国の「セミ」の手話を調べてみるのはどうですか？

「水」もそうです。全国で手話が違います。こんな表現があります。

今年は「セミ」の手話の違いについて、調べてみるといいのでは？